

# 昆虫スケッチのイロハ

岩田 朋文（昆虫担当）

## 1) はじめに

最近ではスマートフォンやデジカメの普及により、手軽に、素晴らしい写真が撮れるようになりました。理科の授業でも、写真はとても役立っています。一方で、じっくりとスケッチを描く機会は減っているようです。写真撮影が手軽になった現在でも、スケッチを描くことは変わらず重要です。ここでは、スケッチの大切さや、スケッチのコツを紹介します。

## 2) スケッチの大切さ

- ① スケッチを描くために無意識に対象物をよく見る→細かな構造まで観察できる
  - ② スケッチした構造の機能に疑問をもちやすい（例：なぜ脚はギザギザ？）→構造理解の深化
  - ③ 同じ構造を持つ別の対象物へ興味が広がりやすい（例：他の虫の脚は？）→探求心の芽生え
- ※上記①～③は、「対象物を理解すること」にスケッチが役立つという内容ですが、反対に、「対象物を人に理解してもらうこと」にもスケッチは役立ちます。

## 3) スケッチのコツ

- ① 大きく描く（描きたいものを紙の大きさいっぱい描く）
- ② 実線ではっきりと描く（デッサンの様に影をつけたり、輪郭を曖昧にしたりしない）
- ③ 細いペンで描く（太いペンだと細部がつぶれてしまう）
- ④ 描かないことははっきりと省略する（重複するものは一部のみ描いたりする）
- ⑤ コメントを書く（表面の状態や気づいたことは積極的にメモ書きしておく）

## 4) スケッチする対象物

当館では、さまざまな自然史標本を「移動ミニ博物館」として貸し出しています。昆虫では、「No. 53(昆虫)「ムシ」の体を比べてみよう」などがあります。



No. 53(昆虫)「ムシ」の体を比べてみよう

## 5) 参考資料

- 盛口 満 (2012) 生物の描き方-自然観察の技法, 160pp. 東京大学出版会, 東京.
- 盛口 満 (2014) 昆虫の描き方-自然観察の技法 II, 160pp. 東京大学出版会, 東京.
- 盛口 満 (2015) 植物の描き方-自然観察の技法 III, 170pp. 東京大学出版会, 東京.
- 中村剛之 (2016) 昆虫形態図の描画法. 昆虫ニューシリーズ, 19 (3) : 121-130.